

～下田のデキゴト～



8/1 新しい隊員が着任しました

インドネシア出身の Haren Tambi さんが、デジタルノマド誘致のコーディネーターとして新しく地域おこし協力隊員となり、6日に委嘱状交付式を行いました。市内のコワーキングスペースを中心に活動し、任期は来年の7月31日までとなります。



8/17 海を越えてつながる絆

下田ライフセービングクラブと姉妹クラブ提携を結ぶオーストラリア マルチドー SLSC から、表敬訪問を受けました。姉妹提携後の1999年からこれまで、技術や知識の向上、国際交流を重ねています。



8/21 公共料金等の見直しを行います

公共料金等審議会より、公共施設等の使用料と屋外広告物手数料の諮問に対する答申を受けました。市内公共施設の使用料と屋外広告物許可申請手数料の見直しに伴うもので、今後、料金改定に向け9月市議会定例会へ上程し、審議されます。

8月の できごと

1日 下田わくわくパーク「これば！」
19日 寿大学8月講座
22日 下田市スポーツ祭サッカー大会
27日 市内主中学校始業式



8/8 親子で下田の海を満喫

須崎漁港を会場に、親子漁船釣り教室を開催しました。市内の小中学生と親子合わせて17人が参加し、講師に伊豆漁協組合須崎支所青年部の組合員さんを招き、親子で海釣りを楽しみながら下田の海を満喫しました。



8/18 親子で寄せ植えを学ぶ・体験する

東京農業大学緑化植栽学研究室が主催する「親子寄せ植え体験教室」が開催されました。市内の親子5組12人が参加し、花の仕組みについて農大生から説明を受けた後、一緒に寄せ植えを体験しました。



8/25 今年もシバイノタカラバコが来た！

玉川大学芸術学部 多和田准教授ほか学生5名が松木市長、山田教育長のもとを表敬訪問しました。玉川大学とは、平成28年に包括連携協定を締結。今年で10周年を迎えました。今年は各記念事業のほか、昨年度好評であった演劇公演も行われます。

28～31日 玉川大学パフォーミング・アーツ・プロジェクトシバイノタカラバコ2026巡回公演

地域子育て支援センター通信



3日(土) 開館日
5日(月) ベビーリトミック 10時30分～
講師：岡かよのさん
7日(水) いちごる一む 9時～11時20分
13日(火) 体育館で遊ぼう(ミニミニ運動会) 10時～11時
19日(月) 体操教室 10時～11時
20日(火) 誕生会 10時30分～
21日(水) めろんる一む(敷根公園) 9時45分～11時
24日(土) 開館日
26日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
29日(木) 製作ハロウィン
30日(金)
※10月は、第1・4土曜日が開館日です。
※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。

問合せ先：地域子育て支援センター ☎2200

暑さが続いている中にも、秋風が気持ちよく吹き抜け心地よさを感じられるようになりました。セミからバトンタッチした赤とんぼが、元気に飛び回っています。支援センターでは、プールや水遊び、夏祭りあそびで「夏」を楽しみました。9月から2月まで毎月1回、「年齢別ルーム」が始まります。同年齢の子と一緒に遊びながら親子で交流を深めていきましょう。実施日や対象年齢などご確認の上ぜひ遊びに来てください。



誕生会



遊 VIVA と遊ぼう



防災講話



親子で楽しいリズム遊び

こんにちは、市長です

グローバルシティとは

何だろう



ある日、世界の高校生が集まり、ひとつのテーマ、たとえば環境について議論した。その後のパーティーで互いに自分の国の伝統文化を披露することとなった。

スペイン人はフラメンコを踊り、アメリカ人はアメリカンジョークでみんなを笑わせた。ブラジル人はサッカーボールを足で上手にあやつって見せてくれた。しかし日本の高校生は何も披露できなかった。

これは、日本が国際化していく一方で自国の文化にいかに関心になってしまったかをやや誇張した小咄である。実際にはすべての日本人が何でもできないわけではなく、詩吟を吟じる人いれば、日本舞踊を舞うことができる人もいる。空手の型で美しく武士道を見せてくれる人もいると思う。ただ、たとえば私の故郷はこんなところでこんな風習があるのだと国際的な場で披露できる若者がどれほどいるだろうか。

グローバルシティ・プロジェクトの「ローカル」の方はそういうことへの挑戦なのである。グローバルシムの基盤には、日本の文学作品や自分の地域の文化といったローカルリズムへの理解や認識が不可欠であり、かの夏目漱石の「坊ちゃん」や山田太一の「日本の面影」などにも、急速に欧化する明治日本の中で、日本のオリジナリティを忘れてはいけない、という強いメッセージがあった(と私は思う)。

今年の夏も世界の様々な国から、多くの人々が下田に來られたが、彼らはビーチリゾートや黒船の歴史はもとより、たとえば下田太鼓祭りのような個性的な文化に惹かれてわざわざ伊豆半島の先端までやって來たのだ。今年はグローバルシティプロジェクトの仕上げの年である。フィナーレにふさわしい文化薫るイベントをこれから色々と開催していきますので、市民の皆さんもぜひご期待くださいませ。